

報道機関各位

平成 29 年 年頭所感

新年明けましておめでとうございます。

昨年はテーマ「健康」の 2 年目の年として、健康増進施設利用券の配布や葉山体操、貯筋運動など、多世代の方々に「ライフスタイルを見直して健康を実行する年」として、イベント参加や生活習慣の改善などの「行動」をお願いしてまいりました。また一方で、広報のスマートフォンアプリ・インスタグラムにおいて、自治体アカウントとして国内フォロワー者数 1 になり、「いつかは葉山へ」の定着に向けて、町の価値を若い世代中心に届けられる強みを得ました。また、民間事業者の協力で若い女性を中心とした来町者も増えたうえに、長年の期待であった南郷活性化事業における葉山ステーションがオープンするなど、町の内外に社会の健康として賑わいを創出した年でもありました。

しかし、議員の覚せい剤使用事件や慶應義塾大学の学生による事件など、全国的に葉山の名を汚す事件があったことも事実です。葉山を愛する多くの人々の心が傷つけられ、私たちはそれを支えるように、動じず、ぶれずに役場としての強さを持ち、町民の皆様と一緒に力を尽くしてきました。

これまで防災や子育て、健康といったテーマを設け、町職員と町民の皆様と同じ目標に向かって、「一つになる力」を大切にしてきましたが、そうして培った力を再確認した年でもありました。2017 年はその協力体制の中で見えてきたさまざまな可能性や新たなニーズに向き合っていく、いわば「葉山の強みを伸ばす挑戦」をしていきたいと思っています。

町の財産である海に続いて、山を活用した「遊び」はできないだろうか。海外のオリンピック候補選手がトレーニングのために葉山に滞在し、自然と国際交流ができる環境を作れないだろうか。行政改革においては、全国のコンビニエンスストアで住民票や戸籍謄本が取れる便利なシステムを小さい町でも導入できないだろうか。いずれも可能性がありますが、実現には町職員の専門性や行動力、私自身の活動の質を高め、幅広く活躍する役場でなければいけません。また、ふるさと納税や企業とのコラボレーションなど、町外の力もお借りしつつ、町民の皆様と葉山を愛する力を一つにして、新たな挑戦をしなければなりません。

若い力と言われた私も 40 歳になる年となりました。若さに経験を交えて、皆さんが安心して任せておける役場の職員と一緒に就任 6 年目の挑戦をしてまいります。どうぞご期待ください。

町民の皆様の優しさ、つながる強さに支えられて、今年も全力で働かせていただきます。どうか本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

平成 29 年 1 月 6 日

葉山町長 山梨 崇仁